

第 1 回寒河江市立中学校部活動の地域移行に関する検討会議

A グループ協議

- 新しい部活動はスイミングクラブのイメージか。
- 移行期間が短いのでは。
- 生徒が二極化するのではないか。任意加入でどのくらいの生徒が加入するのか。
- 平日だけ参加する生徒と平日・休日と参加する生徒とでは、部活動を行う上で、モチベーションが違うのでは。
- 生徒の中に、帰宅部が増えるのでは。
- 教員として子ども理解の機会の減少することへの不安。
- 地域スポーツクラブとして学校部活動を受け入れることは、無理が大きい。
- 学校部活動の受け皿の整備。財源の確保が課題。
- 生徒が加入するとなると会員の基準を見直す必要がある。
- 生徒を指導するための指導者の確保をする必要がある。山形大学との連携も考えられる。
- 総合型地域スポーツクラブの卓球サークルは中学生もいるが中体連が終わるとやめる。
- 保護者へ受益者負担について、周知していく。
- 行政は、各種団体の活動場所となる施設の確保が必要。
- 学校部活動の受け皿となる団体は組織としてしっかりとした団体が望ましい。
- 保護者としては、最初は補助が出るがだんだん負担が大きくなることが予想される。
- 統一的なコーディネーターを位置づけては、どうだろうか。
- 行政として、学校部活動では、何を指すのか。生涯スポーツなのか、技術の向上か、大会に参加して上位入賞を目指すのか。
- 学校部活動は教員の負担が大きい。現在は、人数が足りない。
- 保護者として、学校の大変さもわかるが、昔からあった学校部活動で培われた人間形成の部分が減る不安がある。
- これからは、人間形成も学校だけでなく地域が担う部分もあるのではないかな。
- 生徒は学校部活動が任意加入になっても加入人数はそんなに減らないのではないかな。
- 生徒、保護者、関係団体、地域、行政の部活動に係る概念の更新が難しい。
- 保護者の中には、不満を持っている人もいます。入れる部活がないとか、指導者の専門性への疑問や不満。
- 若い保護者の部活に対する意識はほぼないのではないかな。
- 中学校の部活は全部なくせばいいのではないかな。
- 来年度から市内の中学校はすべて任意加入になる予定。毎日部活をする必要もない。
- e スポーツを選択する生徒も増えるのでは。

- 昭和世代の保護者は、部活動への思い入れは大きい。
- 保護者としては、部活動は人間形成の意味もあると考える。
- 若い世代の保護者の意見も聞きたい。
- 団体としては、生徒を受け入れるための整備の時間が足りない。
- 指導者の確保、施設、財政面等に対する行政からのサポートを期待する。
- 学校部活動と関係団体をつなぐコーディネーターの存在が必要なのではないか。
- 休日の活動などに参加するために、受益者負担を理由に格差の問題が出るのが予想される。
- 地域移行までの見通し、タイムスケジュールを示してほしい。

Bグループ協議

- 休日の部活動がなくなることで、生徒は物足りなくなるのではないか。
- 休日の活動を指導できる指導者は、不足するのではないか。
- 保護者としては、これまでの部活なら公平な指導なので、安心して任せられる。
- 芸術文化協会では、所属団体にも意向調査をしている。
- 部活の意義とはなにか。社会教育・人間教育の意味もあると思う。
- 学校の意義はなにか。安全・責任・指導をこれまで担ってきた。
- 芸術文化協会では、R4.1～2月独自のプロジェクトの試みを行い、協力したい24団体が挙がっている。
- 保護者として、部活は強制だと思っていた。だが、任意加入となって、参加しない生徒は増えるのか。

Cグループ協議

- 保護者として、適切な運営とは何か示してほしい。
- 学校のルールが団体やクラブではどの程度、守られるのか。
- 県内の部活動地域移行の先進の中学校では、活動時間や内容が相当なものだという情報もある。
- 指導者資格について。スポ少は制度上アシスタントコーチ・ジュニアコーチの資格が必要である。資格の考え方はどうするのか、整理が必要。アンケートによる状況調査も有効ではないか。
- 勝敗を含め、どういう部活を目指すのか、学校は示していく必要がある。
- 芸術文化協会の指導者は、現在の活動を好きでやっている。
- 今回の取り組みは、どこを目指すのか、子どもを含めた意思の確認が必要。
- 大会に参加するとなるとプロスポーツ傘下のクラブ所属などと、学校部活動・地域クラブ等とのレベルの違いが大きくなる。

- 生徒の中に勝ちたい・結果を求めたい子と健康増進程度を求める子といた場合に、活動の内容が全く違う。
- 指導者には、資格の有無や人間性が問われる。クラブになった場合そのあたりに不安がある。
- スポ少は資格更新など制度が整っている。
- 平日の活動と休日の活動で参加者が違う場合、子どもたちがバラバラになるのは好ましくない。
- 部活動改革が、西村山の範囲まで広がった場合では、地域クラブ等の運営について問題が出てくると思う。